

令和3年度 学校経営方針

久御山町立佐山小学校

京都府教育振興プランとそれに基づく京都府教育委員会学校教育の重点及び久御山町教育委員会指導の重点に置いて掲げられた理念や方針を踏まえた具体的な取組をとおして「生きる力」を身に付けた次世代を担う児童の育成を目指して教育活動を推進する。

そのために、「久御山学園」における園小中一貫教育を基盤とし、学校運営協議会の活動を核とした地域の力の結集により、学校力を高める。

また、京都府小学校教育研究会情報教育部の研究協力校として3年間の指定を受け、社会の変化に対応できる子どもの育成を図るべく情報教育を推進する。

1 学校教育目標

「自分のよさを生かしながら、ひとりだちできる子どもの育成」

2 研究主題

「主体的に考え情報を活用できる子の育成」

～課題意識を高めるための授業実践～

3 基本方針・・・「考え、創造し、行動する子」

(1) 児童の学習意欲を高め、学力の向上を目指すため、カリキュラムマネジメントによる効果的な教育課程の創造、基礎学力の充実及び授業改善や学習環境の改善を図るとともに園小中連携に基づく円滑で効果的な接続を図る。

(2) 教育相談組織を核とした各分掌の有機的な連携による児童理解と的確な支援を図るとともに児童の人権感覚の育成と安全を確保するための取組を進める。そのために、計画的な研修や情報の共有化、組織的な対応による教師力の向上を図る。

(3) 学校運営協議会やPTAを中心とした地域との連携を強化し、学校を核とした地域一体型の豊かな教育活動を展開するとともに、地域・学校における児童の安全を確保する。

4 学力向上プログラム（別紙）

5 具体的な取組

(1) 学力向上

ア 効果的なカリキュラムマネジメント

「生活科」や「総合的な学習の時間」を中心に据え、教科領域で学んだ力を活用して「考える力」を伸ばし、「生きる力」に結ぶことで、質の高い学力へと繋ぐ。

イ 「久御山学園教育研究会学力向上部」の研究成果を基盤とし、児童の興味関心を高め、深い学びを追求した授業を展開し、自分の学びを振り返る学習スタンダードに則った授業改善を図る。

ウ 学びの時間を基礎学力充実の時間とし、学習の基盤作りに努める。

エ 児童の学力や意識を的確に分析し、基礎的な学力の充実を図る取組を進める。

オ 学びの積み上げを意識した連携の充実を図る。こども園の保育教育内容の理解と非認知能力の育成を核とした連携を図り、中学校へ効果的な接続を行う。

(2) 組織的な学校運営と教師力向上（OJT）

ア 教育相談部を中心とした各組織と校務分掌の機能化

校内支援委員会、チーム会議、学年・ブロック会議の定例化により情報の周知共有と福祉関係を含む外部機関等との連携を含む迅速な支援を進めるとともに教職員相互の学び合いの機会とする。

イ 全ての教育活動に生徒指導の3機能を視点としたねらいを位置付け、ねらいを達成するための取組を計画し、その成果と課題を検証することでより良い教育成果を生み出す地道な取組を積み重ねることで教師力向上を図る。

ウ 人権教育・特別支援教育・安全教育・情報教育など教職員の基本研修を計画的に行い、児童理解や学級経営等指導力を高める。

エ 通級指導教室を有効活用し、児童支援の在り方を共有する。また、見通しのある学習計画により、通級児童の時間を確保する。

オ 危機管理意識を高める。未然に防げることに關しては、常に危機意識を持ち、安心安全に過ごせような視点で対応していけるようにする。また、危機的なことが生じた場合は、すぐに対応できるような意識と体制を確立しておく。

(3) 保護者・地域との連携による豊かな教育活動と安心・安全な環境づくり

ア 学校・家庭・地域の方々との共通理解(方針の周知)に基づく指導により、学校への信頼を高め、教育効果を高める。

イ 学校運営協議会やPTAをはじめとする学校関係団体、町内企業等との連携強化による児童理解、豊かな体験活動、安心・安全な環境づくりを進める。

6 主な領域ごとの重点目標

領 域	重 点 目 標
組織・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校力を高める体制作りを進める。そのために、課題の共有化と課題解決に向けての共通理解を図るとともにPDCAサイクルによる方針の軌道修正に努める。 ・教育目標や重点課題の具現化を目指し、生徒指導の3機能を視点としたねらいを持った教育活動を推進することで、児童の自己肯定感を高め学力の向上に繋ぐとともに特別支援教育の視点を取り入れた学級経営を進める中でそれぞれのひとりだちに向けた学校生活を支援する。
研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・重点研究をとおして、授業力を付けるなど授業改善を図ることで授業力を高める。 ・久御山学園の研究を基盤とした取組の充実を図る。 ・若い教職員の世代が多くなり、少しずつ多岐に亘る研修に取り組む。 ・園・中学校との連携を図り、円滑な接続に繋ぐ。
信頼を高める特色ある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を核とした地域連携の中で、相互理解を深め、地域保護者の願いに応える「信頼のある学校づくり」を進める。 ・教育活動の中に地域の教育資源を有効に活用し、豊かな体験活動を充実することで、学習効果を高める。
教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルにより教育活動を進行管理し、教育の成果を高める。 ・学校図書館司書との連携による読書活動の充実を図る。 ・児童理解に基づく個に応じた指導の充実を図る。 ・児童が「考える」指導を心がけ、創意ある教育課程(カリキュラムマネジメント)による効果のある教育活動を実施する。

7 その他